

第6次小山市行政改革大綱実施計画 進捗状況調査

No.	取組項目		担当課・担当係	取組番号	区分					
88	協働によるスポーツイベントの開催		生涯スポーツ課	3-1-2-007	新規					
基本方針	多様な主体・地域が協働したまちづくりの推進	大項目 市民や地域との協働の推進	中項目 地域との連携強化							
取組概要	地域スポーツ振興において、NPO等の市民セクターが主体となり公共サービスを提供していくという「新しい公共」の考え方が中心に位置づけられている。本市においても「新しい公共」を考え、市民や協賛企業等と協働しスポーツイベントを開催する。		達成目標	ボランティア参加率80%	目標年度 H31					
推進計画		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度				
協働によるスポーツイベントの実施	活動計画	●	●	●	●	●				
	実施状況	●	●	●						
指標名		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	累計・最終目標	実績	達成率	
市を挙げての大会の役員全体に占める民間等ボランティア参加者の割合(%)	目標値	70.0%	72.5%	75.0%	77.5%	80.0%	80.0%	65.5%	81.9%	
	実績値	67.0%	69.0%	65.5%						
年度	P 年次計画・目標		D 実施状況・主な取組内容			C・A 課題及び次年度に向けた改善内容				
H27	<ul style="list-style-type: none"> 業務連携できる企業等について調査・研究を進める。 ①先進地や近隣市町の事業内容の把握 ②協力団体の洗い出し及び募集・決定 ③事業内容の検討 ・協働によるスポーツイベントの実施 		先進地のスポーツイベントを視察し、事業内容を参考にしながら企画・運営に取り組んだ。協賛企業は増えてきたが、協働によるスポーツイベントの実施にはまだ課題が残る。			協力団体への募集の仕方を検討するとともに、市民ボランティアの呼びかけを積極的に行い、協賛企業をさらに活用できる工夫をする。				
			進捗度	C 計画よりやや遅い						
H28	<ul style="list-style-type: none"> 協働によるスポーツイベントの実施 前年度事業の反省とさらなる充実実施 		「おやま思川ざくらマラソン大会」や「ツール・ド・おやま」等のスポーツイベントでは協賛企業や一般公募、学生等によるボランティアを集い、協働によるイベント開催に取り組んだ。			さらなるボランティア参加者の割合増加が課題が残る。協力団体への募集の仕方を検討するとともに、市民ボランティアの呼びかけを積極的に行い、協賛企業をさらに活用できる工夫をする。				
			進捗度	C 計画よりやや遅い						
H29	<ul style="list-style-type: none"> 協働によるスポーツイベントの実施 前年度事業の反省とさらなる充実実施 		課内2大スポーツイベントである「おやま思川ざくらマラソン大会」・「ツール・ド・おやま」に対象を絞り、協賛企業や一般公募、学生等によるボランティアを集い、協働によるイベント開催に取り組んだ。			「ツール・ド・おやま」に関しては、協賛企業や一般公募、学生等により目標値に近いボランティアを集い、協働開催できたが、「おやま思川ざくらマラソン大会」に関しては、今大会よりフルマラソンを実施したため、大幅な役員の増員（警備員等）が必要となり、ボランティア参加の協働開催に欠けた。今年度の反省を生かし、市民ボランティアの呼びかけ等を早期に実施し、協働開催に向け対策をしていく。				
			進捗度	C 計画よりやや遅い						
H30	<ul style="list-style-type: none"> 協働によるスポーツイベントの実施 前年度事業の反省とさらなる充実実施 									
			進捗度							
H31	<ul style="list-style-type: none"> 協働によるスポーツイベントの実施 前年度事業の反省とさらなる充実実施 									
			進捗度							